

快晴の蝶ヶ岳

報告:K

◎山行日：2017年5月6日～7日

◎メンバー：N(リーダー)、K (2名)

「こんな見事な穂高は見たことが無い」とリーダーのNさんが言う快晴の蝶ヶ岳を歩いてきました。7月のザンスカール・トレッキングの訓練の一環である。

5月6日(土)、小雨、スーパーあずさ1号で新宿を出たのが丁度7時、松本が近づくとつれ空模様が少しずつ怪しくなってくる。9時35分には松本着。松本から上高地までは直通のバスで2時間弱、上高地に着いたのは12時10分。昼食を摂って、合羽を着て、さあ出発。

風も少し出てきた。風の中でテントを張るのに苦勞するだろうな、と話しながら歩く。道が平坦なのだがザックが重い。水を除いて18kg、リーダーのNさんのは13.6kg、私より4.4kgも軽い。はぼ同じ装備で私の方が何でこんなに重いんだ。個々の装備の単重が大きい上に心配性が災いして使わないものまで持って行く所為だろが、それにしても重い。雨の中、徳沢まで歩く事1時間40分。幸い徳沢に着いた頃は雨も小降りになり風も心配したほどではない。急ぎテントを張る、幕當代700円。喫茶室にてカンパイ。尾西のアルファ米で夕食を済ませ7時前には就寝。

7日(日)、快晴、風少し、4時起床、リーダーのNさんは3時半に起きてストレッチを済ませていたらしい。昨夜はあまり寝られなかった。就寝7時は早すぎだ。テントの中ではする事が無いので寝るしか無いのだが横になったからと言って直ぐに寝れる訳でもなし、この次からは睡眠導入剤でも用意しておこう。朝食は昨日同様、尾西のアルファ米、とにかく軽いのだけが唯一の長所である。

5時出発、最初の急登がシンドイ。雪は有るようで無い、無いようで有る状態が続く。1時間ほど歩いた所でアイゼンを着ける。俄然歩き易くなる。寒さ対策で着こんだヤッケがやけに暑い、風通しのよい所に来ると一転寒くなる。今回の山行は温度調節に苦勞した。行き交う人は少なく2・3組程度だったのだろうか。長堀山までの標高差1000mは結構辛かった。それにしても体調が今一だと言う隊長は強いですね、ついて行くのがやっとやっとなでした。長堀山山頂らしきところに着いたのが9時、予定通り4時間ジャスト。三角点は勿論、道標も雪に埋もれて見えない。



長堀山を通り過ぎて直ぐに蝶ヶ岳山頂直下の見晴らしの良い場所に出た。槍も穂高の山々も輝き連なりいる。夏山とは一味も二味も違う絶景を堪能する。ただ風は強い。腕とカメラが良ければもっと素晴らしい景色をお届けできるのですが残念です。

ここでザックを下ろし10分程歩いて10時丁度に頂上、今回の山行は行程がびっくりするほど予定通りだ。長堀山まで4時間、蝶ヶ岳まで1時間、合計5時間だ。風が一層強くなり不用意に歩くとトットと飛ばされる。

早々に下山、風の無い林間まで下りて昼食を摂る。食事がすすまない。気が張っていたので然程疲れた気がしなかったのだが、昨夜の睡眠不足が災いしたのか、兎に角食が進まなかった。行動食に今少しの工夫が必要だ。疲れていても喉の通るもの無いだらうか。



頂上から蝶ヶ岳ヒュッテの方向を見下ろす
頂上付近に雪は無い。

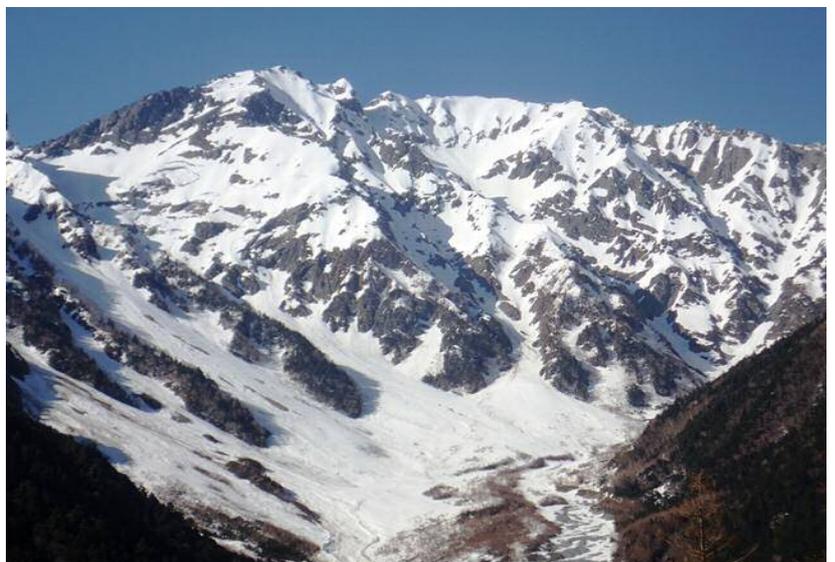
帰途妖精にご挨拶、例年より小さいという。長堀山通過11時、途中雪も無くなって来たのでポチポチアイゼンを外そうかと言う所で木の根っこにアイゼンを転んでしまった。幸い大事には至らなかったものの膝をぶつけてしまい2～3日痛かった。



“妖精”にご挨拶

13時10分徳沢に帰りつく。それにしても長堀尾根は長～いですね、文字通り長～い堀尾根でした。登りより下りの方が長く感じた。

徳沢で長めの休憩をいただき、風の中で苦勞しながらテントを撤収。14時15分徳沢出発。来る時と同様1時間40分で上高地着。帰宅モードになってしまった身体にはこの帰りは堪えました。

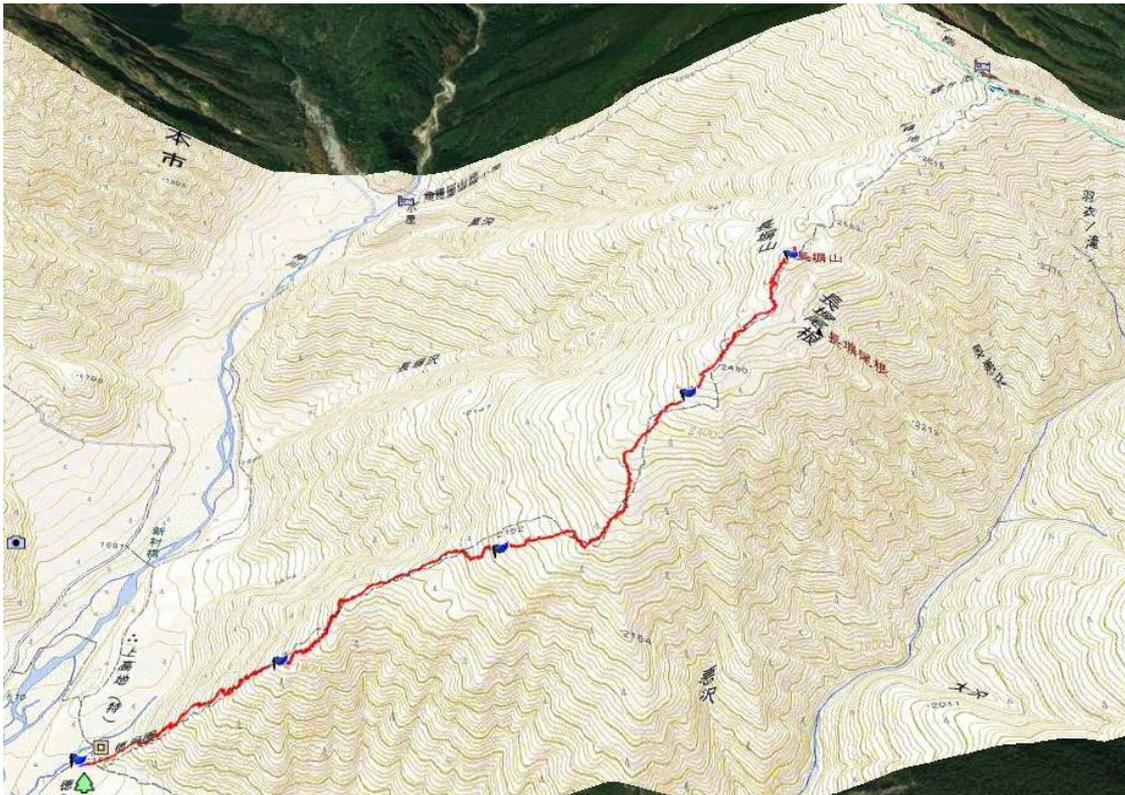


上高地に着いた途端に、5分後にバスが出ると言う。帰りの切符を買ってあったので滑りこみセーフ。この景色ともお別れ、松本には17時30分頃着、立ち飲み屋で反省会、大満足の山行であった。

[記録]

1日目：松本 1015-1210 上高地 1245-1425 徳沢

2日目：徳沢 0500-0900 長堀山-1000 蝶ヶ岳-1100 長堀山-1310 徳沢 1415-1555 上高地 1600-1735 松本



GPS 軌跡